

質問者氏名	質問事項	質問要旨
<p>12番 石川 栄</p>	<p>1 箱根町の財源不足に対する対策について</p>	<p>新行財政改革アクションプラン実施により、平成31年度以降、平均で年2億3千万円程の解消が見込まれる試算をしているが、それでも平成31年度以降、5年間では少ない年でも3億8千万円、多い年では7億8千万円も不足するという財源不足が見込まれる状況である。「新行財政改革アクションプラン」でも財源不足のこれ以上の解消はできないことから、新たな財源確保の方策を考えなければならない。</p> <p>4月25日の行財政改革調査特別委員会において、31年度以降の財源確保策に係る各税目の検討結果について、固定資産税の超過課税のみが実施可とする内容が示されたところであるが、固定資産税の超過課税も都市計画税も固定資産税に上乗せされる税であることから、私としては固定資産税の超過課税ではなく、多くの市町村が行っている都市計画税を導入すべきではないかと考える。行財政改革調査特別委員会での説明では、1つに、課税区域が現在では公共下水道の都市計画事業認可区域に限られるため、区域内外で負担の公平性に問題があること。2つに、下水道事業への繰出金が主な充対象であり、入湯税の用途とも重複するため、2億円程度しか課税できず、財源不足の解消効果がないという理由で、都市計画税の導入は困難であるとされている。そこで、次の3点について伺いたい。</p> <p>①どのような検討をされて、このような結論が導き出されたのか。</p> <p>②現在の財源確保必要額とされている5億円を都市計画税と固定資産税の超過課</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(石川 栄)		<p>税で確保するためには、どの程度の税率になるのか。</p> <p>③町は財源確保に対して、具体的方策をどのように考えているのか。特に、中長期財政見通しにおいて、平成36年度以降の4年間では平均して11億円程度の財源不足が見込まれているが、具体的方策についてどのように検討していくのか。</p>
2番 勝俣 公好	<p>1 仙石原交差点周辺まちづくり計画について</p> <p>2 南足柄市と箱根町を連絡する道路について</p>	<p>私は兼ねてから、南足柄・箱根道路が開通するにあたって、仙石原交差点の渋滞が予測されるので改良計画を進めてほしいと要望してまいりましたが、地権者との用地買収交渉を行ったが、全ての地権者との合意が得られなかったことで、交差点改良工事が進展しなかったのは承知しております。そこに、小田急箱根ホールディングスから保育園跡地でのバスターミナル計画が提案された経緯も承知しておりますし、仙石原地域総合整備協議会も地域活性化が図れるものとして賛同し、これを機に交差点改良工事も同時に進めてほしいと要望が出ております。そこで、仙石原交差点周辺まちづくりについてお伺いいたします。</p> <p>①推進方策はどのように行うのか。</p> <p>②まちづくりの方向性はどのようになるのか。</p> <p>③交差点改良工事の見直しはあるのか。</p> <p>④仙石原周辺まちづくり計画図があると聞くが、どのような計画図なのか。</p> <p>工事の進捗状況及び今後の予定についてお伺いいたします。</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
1 番 山田 和江	<p>1 箱根町の財政ひっ迫について</p> <p>2 民泊の規制と観光ユニバーサルデザインの推進について</p>	<p>現在、当町は固定資産税の超過課税を行っており、財政は大変厳しい状況となっています。超過課税の期限もあと10ヶ月となる中、当町の財政ひっ迫を解決するために、以下の点について質問します。</p> <p>①観光地箱根町の財政は他の自治体にはない特徴を持っているが、これまでも有識者等の町財政に対する分析結果が示されているが、当局としてはその分析結果をどのように受け止め、解決しようとしているのか伺う。</p> <p>②当町は不交付団体だが、観光地特有のごみ処理経費を基準財政需要額に算入してもらっているが、もっと算入額を増やしてもらおう取り組みについて伺う。</p> <p>いよいよ6月15日から「住宅宿泊事業」が施行されるが、各地で違法民泊等で住民との問題が発生している。住民も宿泊者も安心安全に過ごせるよう以下の点について質問すると同時に、観光ユニバーサルデザインの推進についても伺う。</p> <p>①民泊の実態把握について、特に違法民泊の調査はされているか。</p> <p>②民泊の新設については住民との事前の合意形成を図ることが必要と思うが、どのように考えるか。</p> <p>③当町にはリゾートマンションが乱立しているが、町としてもマンション管理組合に対して規約改正の働きかけを行っていると思うが、規約改正の状況はどうか。</p> <p>④高齢者であっても障がいを持っていても、子ども連れでも快適に過ごせる観光</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(山田和江)		地のために観光ユニバーサルデザインの推進について伺う。
9番 山田 成宣	<p>1 ごみ焼却施設の統合に関する町の考え方について</p> <p>2 「箱根八里」の日本遺産認定について</p>	<p>①広域化に向けた作業の現状と今後の課題について、町長のご所見を伺います。</p> <p>②1市3町のごみ処理手数料及び分別状況について伺います。</p> <p>①「箱根八里」の日本遺産認定までの経緯とその内容について</p> <p>②日本遺産認定による「箱根八里」周辺の活性化に向けた取り組みについて</p>
3番 勝俣 泰彦	1 住宅宿泊（民泊）事業について	<p>住宅宿泊（民泊）事業法が本年6月15日に施行されます。</p> <p>当町におきましてもインバウンドの普及により外国人観光客が増加しており、民泊の普及はインバウンドの更なる増加が見込めると思われます。</p> <p>民泊につきましては、これまで特区民泊での活用がされており、マスメディアを通じて色々な問題が指摘されているところであります。</p> <p>例をあげますと、どこで民泊を営業しているか。また、どのような人が宿泊しているかもわからない。ごみの出し方、騒音等いろいろな問題が報じられております。</p> <p>民泊につきましては、6月15日施行であり、これからの課題という部分が多いと思われませんが、先ほど述べた問題が起こりうることは想像がつくものと考えら</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
		<p>れ、住民も心配をしているところでもあります。</p> <p>そこで、次の点について伺います。</p> <p>①現在の民泊の届出・受付について</p> <p>②当町における民泊ルールについて</p> <p>③保健福祉事務所・消防本部の指導内容について</p> <p>④管理者及び事業者である旨の表示、ごみ出し、騒音問題等の指導方法について</p> <p>⑤違法民泊の現状及び対策について</p> <p>現段階で策定がなければ、今後どのような指導を県と協議し行っていくのか町の見解を伺います。</p>
<p>11番 遠藤 秀則</p>	<p>1 消防湯本分署建替工事について</p>	<p>湯本分署の老朽化での建替における場所について何点か伺います。</p> <p>まず建て替える場所の旧子育て支援住宅跡地ですが、土地としては狭く奥行もあまりないように見えるが、建物自体の規模はどのようになるのか。</p> <p>①建物としての階数と必要な部屋数の間取り等余裕はあるのか。</p> <p>②車両の台数と車庫として余裕はあるのか。</p> <p>③建物を建てるにあたり、前の道路と建物の中で2メートルぐらいの空きスペースも必要と思うがどうなるのか。</p> <p>④分団においての併用使用となりますが、詰所においても十分な余裕はあるのか。</p> <p>⑤利便性を考えて、本庁舎前の駐車場からの入口等はどうなるのか。</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
<p>7番 村野由紀子</p>	<p>1 福祉と交通の連携について</p>	<p>箱根町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画第7期では65歳以上の町民1,000人の方に、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を行いました。結果、自宅で介護をして欲しい方、5割程度、約半分の方が望んでいるということがわかりました。</p> <p>また在宅生活継続のために充実が必要な支援・サービスでは、外出同行（通院、買い物等）26.1%と最も高く、次いで移送サービスの24.8%でした。そして主な介護者が不安に感じる介護では、外出の付き添い、送迎等が26.6%と最も高くありました。</p> <p>日常生活用品の調達や医療機関への通・入院も、隣接市にある大型店舗や総合病院などを利用している方が多く見られ、介護サービスの状況についても山岳地形などの事情から交通の利便性に欠け、居宅サービスにも移動の時間がかかるなど影響が出ています。今回の調査で、移動の支援はニーズの高いものであるとわかりました。移動の交通手段は、鉄道は1路線で国県道を主経路とした路線バスはありますが、観光路線の色合いが濃く地域内を循環して住民生活となる生活路線がないため、自家用車などを移動の手段としている現状です。少子高齢化による超高齢社会・人口減社会では、地域の足を地域コミュニティの工夫によって確保する事が重要と考えます。生活の基盤を確保する観点からも、コミュニティの活性化の点からも高齢者・移動困難者の在宅の暮らしを支える移動施策が必要です。そこで、次の2点について伺います。</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(村野由紀子)		<p>①各地域において日頃の近所付き合いや地域の活動などを通じて町民相互の支え合い、助け合いの地域社会を作っていくことが重要です。地域による地域の支え合いの推進、今後の取り組みについてお伺いします。</p> <p>②高齢者の移動手段の確保、高齢者が活動しやすいまちづくりが大きな課題になっていると、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画にありました。町の考えをお伺いします。</p>
8番 川端 祥介	1 箱根町の勤労者の確保と定住、労働条件充実等について、相談体制の推進について	<p>国では働き方改革についての議論がなされていますが、最近の新聞報道によると、特に宿泊業では人手不足が顕著になってまいりました。</p> <p>勤労者の確保を図るため、定住・定着を推進して、更なる労働条件を充実させ、生活力を向上させる必要があります。そこで、下記の3点についてお尋ねいたします。</p> <p>①昨今の人手不足に関して、労働力の確保対策について</p> <p>②勤労者の定住・定着や社会保険の推進策について</p> <p>③勤労者・事業者からの相談業務の充実について</p> <p>以上、お伺いいたします。</p>